

金沢市長選挙への立候補の発表にあたって

2018年10月7日

市民本位の金沢市政をつくる会

市民本位の金沢市政をつくる会（以下「市民の会」）は、11月4日告示・同11日投票で行われる金沢市長選挙にあたり、南章治さんを候補者に擁立することを決定しました。

「市民の会」は、1986年以降の市長選挙において候補者を擁立し、一貫して「いのち、くらし、福祉優先の市政を」「市民が主人公の市政を」と訴えてきました。今回も、市民とともに歩む公正・公平でクリーンな金沢へ、市政を変えることを目指して選挙戦をたたかいます。

南章治さんは、「市民の会」の役員の一員として、また構成団体の一つである日本共産党金沢地区委員会の委員長として、常に市民要求実現の運動の先頭に立ってきました。「市民の会」では今回の市長選挙にあたり、日本共産党金沢地区委員会に立候補の要請を行い、市民の切実な要求を実現するために出馬することを決意いただきました。

4年前には、市長選挙の直前の8月に、競輪の場外車券売り場の計画をめぐる業者との癒着疑惑から山野之義市長が辞職し、市長選挙が前倒しで実施されました。選挙では山野市長が再選されたものの、真相を究明するため地方自治法100条にもとづく調査特別委員会が設置され、市長の政治姿勢が問われました。

今年の8月には、「山野ゆきよし金沢市校下後援会連合会」が政治資金団体の届け出をしないまま、町会からの寄付などを受けていたことが明らかになりました。中には町会費から公費を支出している町会があったことも白日の下になり、思想・信条の自由という民主主義の根幹にもかかわる課題として、大きな問題です。

政策面でも、家庭ごみの有料化や宿泊税など、公約にないものを、市民の納得と同意づくりが不十分なまま実施へ進むなど、市民の声に耳をかたむける姿勢が大いに欠けています。

また、市役所第2本庁舎の建設や金沢駅西の外資系ホテルのための環境整備、金沢港建設事業などの大型開発を進める一方で、市民の暮らしにかかわる制度の改善はなかなか進まずにいます。

今回の市長選は、今までどおりの市政運営を続けるのか、市民とともに歩む公正・公平でクリーンな金沢へ変えるのかが問われています。市民の暮らしや福祉・教育などの切実な願いがまっすぐ届く市政をつくることができるのは、場外車券売り場の設置に真っ向から反対を貫き、巨額の税金をつぎ込んで景観を破壊する第2庁舎の空中通路などの見直しを求め、家庭ごみの有料化に反対する運動を今も継続してきているなど、暮らし応援の市政の実現を一貫して追求している「市民の会」とその候補者です。

私たち「市民の会」は新しい金沢への転換をめざし、市長選挙をたたかうものです。

以上

南 章治 (みなみ しょうじ)

1955年(昭和30年)4月9日生まれ 63歳

能登町小木小学校・中学校卒

愛知県立刈谷東高校卒

名城大学理工学部二部交通機械学科中退 / 金沢経済大学二部経済学科中退

現職 日本共産党金沢地区委員会 委員長 / 同 石川県委員
市民本位の金沢市政をつくる会事務局次長

現住所 金沢市小橋町

家族 なし(別居で一男二女)

市民本位の金沢市政をつくる会

【構成団体】

金沢・河北地域労働組合総連合

新日本婦人の会金沢支部

金沢・白山民主商工会

石川県民主医療機関連合会

石川県健康友の会連絡会

日本民主青年同盟石川県委員会

日本共産党金沢地区委員会

【構成員数】 約 5000 人

【代表委員】 各団体からの代表 5 名で構成

選挙事務所

金沢市増泉1丁目16-30レジデンスさんと2階

電話・ファックス 未定

※当面の連絡先は、従来どおり下記

〒920-0848 金沢市京町28-8 石川民医連労働組合

TEL 076-251-0014 FAX 076-251-3930

E-mail miniro@quartz.ocn.ne.jp